

第1回「高校生のための特別公開講座」

タンパク質-生命を担うこの身近で不思議な物質

3/26午前（講師：蛋白質研究所教授 高木淳一）

～メニュー～

第一部【理系の世界への招待】

- 1- 1. 「理系」についてよく考えてみよう
 - ・「理科系人間」ってどんな人種？
 - ・「理科系」の反対語はなに？
 - ・「理科系人間」を定義してみよう

- 1- 2. なんのためにこんな勉強するの？
 - ・「勉強」には2つの異なる目的がある
 - （1）習う内容それ自体が目的（人として豊かになる、あるいは実用的な知識）
 - （2）手段を身につけるため（内容それ自体に価値があるのではない）
 - ・なぜ理系は野暮ったく見えるのか？
 - ・「勉強」の本質は「ただ乗り」である！

- 1- 3. 学問としての理科
 - ・芸術と理科（科学）の違い（“不変”と“進化”）
 - ・科学とは“世界を〇〇すること”
 - ・なぜ本当は科学が「カッコいい」か？
 - ・再度、理科系人間を定義してみよう

第二部【タンパク質の正体を知ろう】

- 2- 1. 「生命の不思議」に挑戦するのは簡単（！？）
 - ・「生物＝物質である」は〇か×か？
 - ・“生命体は1つの〇〇である”

- 2- 2. 「タンパク質」とはなにか？
 - ・蛋白質は「栄養素」ですか？
 - ・タンパク質の名前は「職業」をあらわす

- 2- 3. 生命の驚くべき精巧な「しくみ」
 - ・たったいま君の体の中で起こっていること
 - ・すべての病気はタンパク質の仕事の不具合が引き起こす
 - ・がんもインフルエンザもタンパク質から

- 2- 4. 「研究」という仕事